婦選獲得同盟會報　第六號

第六年年次總會を迎ふるに際して

總務理事　久布白落實

（一）

昭和三年度の婦選獲得同盟の歩みを顧みて年と共に、會も亦多事多端になり行く有様が一種成長の喜びと云ふ感を以つて眺められる。

對外的に本年は、會として役員の外遊が多かつた。昭和三年の始め、あの普選第一の總選擧をあとにして自分は、訪歐の途に上つた、それは前後三ケ月に亘つて、昨年の總會には缺席を止むを得なくされた、然しこれは同時に會の世界的進出の一助となつた。即ち四月英國コルベツト邸にて開かれし萬國參政權協會理事會に出席して、會の聯絡を正式に申込む事が出來た。來る六月のベルリン大會に於て、愈其承認が有る筈となつて居る。

ついで七月には、本會として、始めて資金を調達して、代表者をハワイにて開催されし汎太平洋婦人會議に送ることが出來た。其人選は本會の會務理事、市川房枝女史に當り、女史は、困難なる旅程を終へ太平洋會議のみならず、渡米、更らに大統領選擧の實戰を視察し且つ今日我等の最も必要とする、公民教育について研究して歸られた。これは本會として、今日の婦人界に對する大なる貢獻を爲す基と云ふ事が出來やう。

（二）

會としては、本年は幾多の實戰を重ねる事が出來た。年の始めに於ける總選擧を始めとし、第五十六議會に於ける、公民權獲得の運動、同時に其實地戰とも云ふ可き、東京市々會議員の改選、これに對して對市議選擧委員會成立等、愈婦人の政事的進出を日一日と近からしむる準備が成りつゝ有るを思はせる。

（三）

會の内部としては、會費の値下げを斷行し又誌代の値下を斷行し、大衆に向つて呼びかくる其第一歩を踏み出した事は、最も喜ばしき事の一つである。この大改革にもかゝはらず其財政的基礎も、幾分づゝ築かれつゝあるは、又感謝に値する事である。勿論會の中心を爲す中央委員會は、決して容易の仕事でない、十五名の内、五分一は病氣其他にて殆んど缺席である。其他纏み切りの役員中にも、不慮の出來事で缺席を餘儀なくせられし等、時に内憂外患の觀なきにしも非ずであつた。然し兎にも角にも凡べてを一貫して、會はひたすらに向上、發展の一路を辿りつゝあることを、全國の會員及び會友に報告す可きであろう。來らんとする一ケ年も決して安價な樂觀を容れない。然し愈我國三千萬の婦人が非常然立つ可き處に立ち、其當然負ふ可き責任を負ふ日まで我等は前進せねばならぬ。希くはこの大會を又踏み台として更に新らしき一年の活動に入り度いものである。

會務報告

會務理事　市川房枝

第五年次總會並にその決議の實行

昭和三年四月二十二日（日）午前十時より麹町區内幸町大阪ビル内に於て擧行された。詳細は「婦選」六月號に記載した。

第五年次總會に於て決議されたる

▼女學校に公民科を設くる事を文部當局に建議するの件

については、河崎、久布白、高野、田中の四中央委員が委員となり、七月十六日文部省訪問文部大臣に面會の上大會の決議として建議した。尚これに關聯して全國の女學校に於ける公民教育の實狀を調査することになり河崎中央委員がその衝に當つて調査を進めてゐる。

▼婦選を政綱に含まざる政黨に對しこれが掲示を要求するの件

については、書面を以てする他、特に與黨である、政友會に對しては、七月二十四日各中央委員打揃ひ首相官邸に於て田中首相を初め黨幹部に面會して、これを要求した。

▼汎太平洋婦人會議に決議文を送るの件

については書面を以て豫め申送つた外、代表として出席した市川會務理事より大會に提出した。（その詳細は「婦選」四年一月號掲載）

臨時總會の開催

正會員及會友の會費を金一圓に變更し、入會金を廢止するやう規約を改正するため、昭和三年十二月十五日臨時總會を開會して協議し、これを可決した。（詳細は「婦選」四年一月號掲載）

國際的關係

過去一ケ年間に於ける國際的關係事項は左の如くである。

▼國際婦人參政權及平等市民權協會加盟の件

右は昭和二年第四年次總會に於て決議され、昭和三年三月久布白總務理事渡歐の際、理事會に出席して申込をなした結果、理事會はこれを承認した。然しこれが確定は來る六月十七日よりベルリンに於て開催さるゝ第十一回大會に於て協議さるゝ筈である。

▼市川會務理事の汎太平洋婦人會議出席並米國合衆國觀察

これも昭和二年第四年次總會の決議により實行された譯で、昭和三年七月廿日出發、八月十一日より八月十八日迄ホノルルに於て開催されたる大會に出席後、更に米本國に渡航、大統領選擧並に、婦人の公民教育の狀況を視察した他、在留邦人の間に會の趣旨を宣傳し、多數の會員を得て十二月八日歸朝した。右費用總額三千六圓四十四錢中千九百九十圓は會で負擔支出した（内譯日會より、五百四十圓、個人よりの指定寄附九百五十圓、會の支出五百圓）（詳細「婦選」四年一月號掲載）

▼英國婦選團體へ祝辭發送

昭和三年六月英國婦人が男子と同等の範圍にまで參政權を擴張されたるにつき、英國コーベツトアシユビイ女史に對し祝辭を送つた。

婦人團体との關係

前年度に引續き、東京聯合婦人會及婦選獲得共同委員會の一加盟團體として參加してゐる他、昭和三年七月以降國際聯絡婦人委員會の組織に參加し、昭和四年二月その組織さるや參加團體として加盟した。

役員及職員の動靜

●中央委員……第五年次總會に於て久布白、竹内、河崎、田中、高野、金子、山川、秋山、小林、坂本、八木橋、正田、千本木、鹽原の諸氏が選擧されたが、山川氏は家事上の都合にて受諾されなかつた爲め、次點者三輪田氏が就任された。

昭和四年一月にいたつて正田氏は校務多忙のため、八木橋氏は郷里群馬縣に歸郷されたため、秋山氏は病氣のため辭任されたに就て、女子英學塾教授藤田たき氏、前中央委員山本杉氏、前婦風會九州部會長和田邦子氏が中央委員會の推薦によつて就任された。

重要日誌

＝昭和三年四月－四年三月＝

▼四月四日　午後竹内氏宅にて四谷支部會開催。

▼四月十一日　鹽原、金子補郡の杉浦武雄氏主催演說會に赴く。

▼四月廿一日　夜協調會館に婦選獲得共同委員會主催の『婦選と政黨』の演說會開催。

▼四月廿二日　午前十時より麹町内幸町大阪ビルに第五年々次總會擧行。

▼四月廿四日　臨時議會開會、民政黨より二十七日政友より婦選三案提出さる

▼五月一日　夜横濱勤勞婦人聯盟發會式に市川、金子、八木橋出席、講演。

▼五月八日　財務委員會の浴衣うり初まる

▼五月十四日　『婦選』の專任編輯者として富川靜枝就任。

▼五月十六日　讀日會の短冊頒布會の事務開始。

▼五月廿一日　夜國民講堂に婦選獲得共同委員會主催の對特別議會運動報告演說會開催、金子出演。

▼五月廿五日　會友久保山氏より民謠切符寄贈、財務にて賣り捌く

▼六月一日　より六日まで對府會選擧演說會を連夜開催、計八回。

▼六月三日　書記稻垣たつ子歸國。

▼六月四日　右後任兒玉勝子就任。

▼六月七日　民謠會。

▼六月十二日　新橋演舞場の新國劇に基金募集の觀劇會開催。

▼六月十八日　深川ビルに於ける菊池氏主催演說會に、市川、金子出演。

▼六月廿一日　前會計理事荻原眞子氏逝去、廿二日葬儀に久布白、市川、金子列席。

▼六月廿七日　廣告部の中園ヒサノ辭任。

▼七月二日　竹内氏宅に久布白氏歡迎、市川氏送別の中央委員會開催

▼七月八日　財務の山岳寫眞販賣に久保田喜代就任。

▼七月七日　夜讀賣講堂に讀日會主催の「市川氏を送るの會」開催。

▼七月十二日　午後文化アパートに各婦選團體を招き、市川代表出發について茶話會開催。

▼七月十三日　財務の鶴富組峰氏半折頒布事務開始。

▼七月十七日　山内寧子、荻原貞子兩氏の追弔會を營む。

▼七月廿日　市川代表、汎太平洋婦人會議に出發。

▼七月廿四日　午后首相官邸に中央委員

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

更に三月にいたつて小林、田中兩氏は東京市會議員の選擧に際し、會の推薦以外の候補者を應援するため辭任されたが、その空席は欠員のまゝ今日に及んでゐる。

●●理事…第四年次總會直後の中央委員會に於ける互選の結果總務理事には市川房枝、會計理事に竹内茂代氏が選擧されたが久布白氏は當時外遊中であつたためその歸朝迄河崎氏が代行した。

尚會務理事市川房枝の外遊中は田中氏が臨時にその職務を代行した。

●●職員……幹事は前年度に引續き金子茂氏が執務して今日にいたつてゐる。但し十月幹事が滿鐵會社の招聘により一ケ月出張した間は八木橋氏が代行した。事務員稻垣氏は六月一身上の都合にて辭任し、兒玉勝子氏がかはつて就任して今日にいたつてゐる。

尚四月より六月迄は内田氏が昭和四年四月より現在までは小泉氏が給仕として出勤してゐる。

事務所

事務務所は十月の中央委員會に於て、經費縮少の意味にて移轉することに一度決定されたが、會務理事歸朝迄待つことになり、會務理事歸朝後には縮少ではなく一層便宜の多い場所に移轉するも差支ないことに變更されて今日にいたつてゐる。但し家賃は一月より四十五圓に低下された。

電話は矢島楫子氏の相續者より賃借料を支拂つて借りてゐたが、持主が三度變更し、現在はガントレット恒子氏より借用してゐる。

會員及受信發信數

●●會員……會員數は臨時總會に於て會費を三分の一乃至二分の一に値下げしたため一月より三月迄に約二倍に增加し昭和四年三月三十一日現在は左の如くなつてゐる。

正會員　七八〇名
維持會員　六四名
會友(男子)　一一七名
●●●合計　九六一名

●●發信及受信數……昭和三年四月一日より四年三月三十一日迄に於ける

發信數　三、二〇七八通
受信數　四七〇四通

である。發信數は前年度の一萬四百通に對し約三倍に上り、受信數は前年度の二千六百通に對し約二倍に上つてゐる。勿論兩方共記入洩れは相當に上つてゐやう。

各委員會

總會後、組織しなほされた委員會は、政教―高野、財務―秋山、議會―鹽原、會員―田中、出版―市川、調査―正田の諸氏が委員長として活躍すべく期待されたが、議會運動委員會を除く其他は委員長の病氣、外遊、辭任等の爲め支障を來し、各委員會に屬する仕事は會の職員及少數の中央委員の手によつて共同に行はれるの已むなき狀態であつた。

東京市會の選擧に際しては東京市議選擧婦人委員會なる特別委員會が組織されたが、此方は熱心なる委員によつて立派に其の成績をあげ得た。尙選擧終了後は東京市會委員會なる特別委員會を引續き設置し市政の淨化、市政の研究を行ふことゝなつた。各委員會活動の大畧を次に揭げてみる。

政治敎育委員會

總會の決議に基き、1、各自の政治的修養の目的に對しては五月廿四日事務所に研究會を開き、府縣會議員選擧法について高野氏研究發表2、一般に對するものは、六月の府縣會選擧に對して左の演說會擧行

六月一日　柏木有隣園、吉岡彌生、金子、竹内、高野出演
六月二日　四谷二葉保育園分園、山田わか、村上秀、藤田あさよ出演。
六月三日　巢鴨宮下櫻風會託兒所、小林珠、市川、高野出演。
六月四日　南千住交隣園、竹内、河崎、坂本出演。
六月五日　日暮里愛隣園、山川やす、大橋豊喜、金子、高野出演。
六月六日　龜井戶愛清館　河崎、市川村上。
同　横濱婦人會館　八木橋、竹内、金子。
六月八日　神田松本亭　久布白、市川金子。

他は、一年を通じて、久布白、竹内、金子、鹽原氏等、關西、信州、千葉、愛知、靜岡地方に講演會、夏期大學、判込講演、其他にて遊說の實を擧げ、同時に各新聞に論陣を張りて大に盡されたり。

會員委員會

本年度の會員委員會は非常に不成績であつた。理由の一は委員長、委員が充たされなかつた事。二は、會員募集に會費の點で大に困難を感じた事そこで計畫はあつたが、何れも實行に移されずに唯個々の幹部が努力したのみで上半期は過ぎた、けれども、遂に望みが容れられて、十二月の臨時總會で會費値下げが斷行され、一方公民權の運動が具體化したゝめ、一般婦人が輿論に刺戟された結果、自發的の入會者も稍增加して來る傾向を示した矢先、又一方財務委員會が觀劇會樣の募金方法を改めて切符を會員に頒ひないやうにする事になつたので、勢ひ收入の點からも會員增加に依る必要が迫つた。それで伸び〱になつてゐた

●●●●會員倍加週間……を一月十六日より開始、其結果、一月中二五〇名募る豫定が、合計七八名、(維持四、正六二、會友一二)を得、二月以降三月末までに計一四五名を增加する事が出來た。

●●●もより會……も豫定より遙かに少數の會合に終つたが、四谷支部が四月、八月、一月と三回竹内氏宅に又一月大森の會員が坂本氏宅に一回と計四回行はれた。

財務委員會

●●●一、觀劇會(純益四九三圓八二)六月十一、二の兩日、新橋演舞場に於ける新國劇公演切符一〇〇〇枚(三圓八十錢券)を國民新聞社員石島佛次郎氏の盡力にて二割の步にて引受けて賣つたが、中々困難で、豫定の七百圓に達しなかつた。

●●●二、ゆかた資(純益一八圓)これは惣風會で毎年行はれるのを幾反か引受けて步合を貰はうといふので、最初は一反一圓九十錢(步合廿錢)のを五百反賣る豫定であつた處實行思はしからず、五月から七月までかゝつて結局一〇二反だけで終つた。

●●●●三、山岳寫眞(欠損五五圓、五七)信州大町の手塚順一郎氏の日本アルプスの寫眞販賣を夏向の仕事として計劃したが、額緣が大分餘つた爲、差引五五圓五七の欠損を生じ不成功に終つた。但し寫眞及額緣の殘額が原價に見積つて約百圓あるから、この始末がつけば右の欠損額は補塡出來る筈ではある。

●●●●四、御大典マーク(純益一一五圓)これは全關西婦人聯合會が御大典紀念こども會館建設募金の計劃の一部分を手傳つたので、一ケ五錢(步二錢)を一萬引受ける豫定の處、據なく五千個に減じたもので、この仕事には田中芳子、小林珠子二氏が一切當られた。

●●●五、映畫會(五〇二、九八圓)九月廿三日夜、報知講堂に開催、九十九錢券千枚を賣つて五百圓を得る計劃が所期通り成績を收め得た。これには舞踊が長谷川時雨女史の好意で令妹尾上菊子孃の寄附出演が得られた事や、會員大橋豊喜氏の夫君三也氏の盡力で映畫が非常に廉價で借入れられたこと、及び數回の經驗で稅金其他の經費を非常に節約出來たことが與つて力あつた。

會この他に化粧品や、おしめカバーなどの委託販賣も、「婦選」の廣告關係から多少扱つてゐるが、特種のもので報ずべき程ない。

又會友久保山武雄氏から同氏主宰の協議會公演切符四百枚(五十錢券)寄贈されたものを賣りさばいた純益は一四一圓に達した。

市川代表の派遣費は、履日會が短册會や講演會で五四〇圓作つて下さつた後を

▼一同首相と會見。
▼八月三日　金子信州地方遊說に出發。
▼八月十七日　金子歸京。
▼八月十八日　兒玉休暇歸鄉、夜四谷支部會を竹内氏宅に開催。
▼八月廿三日　中央亭の婦人市政研究會主催市議候補懇談會に、竹内金子出席
▼九月十五日　調査の全國女學校へ公民教育問合せ發送開始。
▼九月廿三日夜報知講堂に基金募集の『映畫の夕』開催
▼九月廿四日　久保田喜代辭任。
▼九月廿五日　金子滿鮮視察旅行に出發留守中を八木橋預る。
▼十月十二日　二葉地許可撤廢同盟へ加入
▼十月十三日　聯合婦人會の市政淨化請願書調印開始。
▼十月廿四日　金子歸京。
▼十一月二日　全關西婦人聯合會の御大典マーク賣開始。
▼十一月十八日　午后婦選懇友會開催。
▼十一月廿四日　帝國教育會に開催中の全國小學校女教員會出席者に『婦選』十二月號特輯頁を配布。
▼十一月廿六日　竹内、金子、信州に遊說
▼十二月二日　議會運動委員會活躍を始む
▼十二月八日　市川代表歸朝。
▼十二月十五日　午後一時動町富士見軒に臨時總會を開催、夜市川氏歡迎會。
▼十二月廿一日　東京市會解散につき聲明書發表。
▼十二月廿五日　對市議選擧委員會組織さる。
▼一月十九日　午后大阪ビルに對市議選擧對策協議會開催。
▼一月廿五日　夜讀賣講堂に對市議選擧演說會開催。
▼一月廿七日　共同委員會主催の講演デー擧行。
▼二月五日　靜岡、六日名古屋に市川、竹内、金子遊說に赴く。
▼二月七日　婦選請案衆議院に上程。委員附託。
▼二月十三日　全關西婦人聯合會代表恩田和子氏歡迎會を神田甘露坊に開く。
▼二月廿日　商工會議所婦人有權者に警狀發送。
▼二月廿二日　議會に有志會員示威に赴く
▼三月二日　公民權案委員會にて否決さる
▼三月四日　市議推薦候補決定、發表
▼三月五日　公民權案、本會議にて否決
▼三月六日　より十五日まで推薦候補のため連夜推薦演說會を開く
▼三月九日　會員懇談會。
▼三月十三日　共同委員會主催對市議選擧演說會に市川氏出演
▼三月十五日　『市政淨化デー』に參加全市にビラまきをなす。
▼三月十七日　市會選擧投票、推薦候補中六名當選。
▼三月廿三日　午后大阪ビルに對市議選擧運動の報告會開催當選市議招待
▼三月廿九日　午后大阪ビルに代議士招待會、夜初市會傍聽を行ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

特定寄附九五〇圓、蘇峯先生半切布額で五〇〇圓作つた。德富先生に厚く感謝する次第である。

出版委員會

「婦選」は委員長が半年間留守をしてゐたに拘らず、五月より就任した編輯者宮川氏、金子氏の努力によつて休ますに刊行されて來た。殊に、會計、等の事務は、會の書記兒玉氏が熱心に働いて下すつた。廣告の成績が前年度より幾分惡いこと位は已むを得ないと思ふ。尤も廣告のためには年度初めの五、六月には中間氏に七、八、九月には久保田氏に委囑してみたが、かへつて經費がかさむ結果になつたので中止し、現在では主として編輯者が心配をしてゐる。發行部數は二千部乃至四千部に上つてゐる。

昭和三年度に於ける收支決算は左の如くである。

昭和三年度決算

一、收入　一八一〇・四六圓

內譯

前年度繰越	一三七・九八
誌代	六〇八・三八
廣告代	二四七・〇〇
借入金	二一五・〇〇
會より補助	六〇〇・〇〇
其他	二・五〇

二、支出　一、七一六・五五圓

內譯

印刷費	一、一六一・四〇
編輯費	三三五・〇〇
發送費	一五二・六四
交通費	二四・三四
文房具	三〇・六七
其他	一二・五〇

三、差引　九三・九一

借入金現在高

昭和元年度借入	二五〇・〇〇圓（田中芳子氏立替）
昭和二年度借入	一五二・一五（市川房枝　立替）
昭和三年度借入	二一五・〇〇
	一七五・〇〇會立替
	三〇・〇〇市川氏立替
	一〇・〇〇金子氏立替
合計	六一七・一五

特別積立金

約束郵便保證金　三八・〇〇

調査委員會

昭和三年八月より河崎夏子氏の手によつて全國中等程度女學校八百餘校に對し問合はせを發して調査してゐる。その結果は婦選三月號に發表されてゐる。

對市議選擧委員會

「婦選」三、四月號紙上で詳細に報告してあるからここでは略する。

議會運動委員會

○詳細は每月婦選誌上に掲げた故にはその要點のみを掲ぐ。

■四月より五月にかけては、第五十五議會に對する運動を行ふ。方針は婦選獲得共同委員會の協議によるのにて、本會は政、民二黨より婦選三案の提出を分擔した結果、四月廿四日民政より、同廿七日政友より各提出せしむ。但し臨時議會なる爲審議に至らず。

■六月よりは政友會の新政綱として婦選取上げに對する、同會政務調査委員會への運動、及び政府の地方制度改正案行政制度審議會への運動を開始、五十六議會にて公民權獲得の方針の下に、七月廿四日田中首相にも會見、八、九、十月も上述三委員會及、政府與黨幹部に諒解運動を繼續。

■第五十六議會對策は共同委員會としては無產婦人團體は政府案にふれざる立場をとれる上、[illegible]院外運動に力を注げる爲、自余の團體にて政府に對する運動をなすに決し、[illegible]本會は已定方針通り[illegible]たるも政府案は一月[illegible]不成功に決す。

■乃ち第五十六議會に於て[illegible]案の上程さへ覺束なかりしなり。

■治警、結社は前議會の如く本會分擔、十二月廿四日民政より提出せしめたるが政友は公民權に全力を注ぐの謂を以て提出せず。

■貴院に對しても相當運動したる結果、三月十六日湯地幸平氏、地方制度委員會に於て公民權に關する質問をなせり。

會計報告

會計理事　竹内茂代

昭和三年度の收支決算並にその內譯を左に御報告いたします。

收入內譯

一、正會員費（一一八五、二八圓）

大正十五年度分（一九、〇〇圓）

西岡郁、小林三枝、森下ならめ、城殿きよ、松村たか、末弘杉枝、岩崎文江、高橋せい、阿部光、大橋花、名出景、西村きぬ、下田サト、

昭和二年度分（二〇一、五〇圓）

永井駿子（二、三月分）、木村よしの、粂田秀子、小出ちか、片山若の、小山綱、小山サク、池田春、中村のぶ、熊倉わき、濱谷たけ、木島竹子、富永のり、松井雛子、遠藤松枝、若木わか、塚田ヌイ、八田敏時岡のぶ、廣橋きよ、田中幹子、田中エヒ土屋まき、澁澤沙河、高橋イシ、赤木フミ田口清、佐藤邦子、伊藤よし、廣川しづ、無名氏、西島文子、本位田祥枝、古田とみ、高田春、正田淑子、河本龜子、福島峰子、保坂かつ、相馬光江、西岡郁、兒玉琴枝、梅野はつ、橋本淑子、塚本はま兒玉鐘、守屋東、堀江岐中、大澤夏江、立野ソデ、小林三枝、森下ならめ、城殿きよ、加藤さい、中ひさ子、二宮わさ、松村たか、寺田ちひろ、末弘杉枝、城のぶ、多幾山千鶴、岩崎文江、渡邊すゞ、布野かつの、小松ゑい、丸山不美、濱イツ子、宮坂染子、下田サト、小笠原露子、髙橋せい、阿部光、大橋花、濱本まし枝、松島すみえ、矢野きみえ、名出景、橋爪茂安保倩、佐藤靜、村松とし、丹下ロシエ西村きぬ、島澤こせき、本多てい、松宮しん、仙波文、留岡よし、ガントレット恒、柳八重、

昭和三年度分（五七三、〇〇圓）

武田しげ、永井駿子、服部桂子、山道コマツ、森崎はる、森岡しづ、吉川春惠、武田峰子、阿部トシヨ、中川千代子、竹中佐喜子、青野シヲ、芳賀鏡美、髙橋キヤウ、大林粂子、藤原智淨、飯田しよう、矢島ロシ、山川房子、吉野ちゑ、上代たの管しな、大橋武、小栗元子、蛭田満子、小島とよ、盤江操、西田タキ、山田琴、柏谷ヨシ、平野理枝、石川於君、前島ふく大和俊子、北澤たま、菊池ヤエ、小山美佐尾、八木恭子、澤こと、馬場寧、高野溪、池山藏、八木橋きい、柴雫、高谷つれ、橫尾きみ、木村龜井、高橋そめ、杉浦サダ、清水榮、岡野幹、田坂ミト、大柳はるの、千本木道、石川みち、山室機臨非くら、宮本梅、齋藤貞、岡田みつ、市河崎、杏ふく、戸田康、前田園、市川いし、山田わか、大賀せつ、篠田せい、多川スミ、本多てい、山本杉、帆足みゆき門馬千代、日向照、寺島以登代、淺野哥代、堀原靜、山崎よね、植竹つた、片山金、中西榮、湯目孝、紺野のぶ、松宮しん、下山松枝、仙波文子、鈴木サチ、田崎レイ、山野千枝、皆川せき、田中壽、中村立、山中シゲ、宮坂みち、背靜勢、加藤ひさ、大濱英、藤間あさよ、潁きく、山添壽、長町キヨコ、山口倫、山崎鈴、大森八重、鷲尾いく、河井道子、杉田鶴、大山克、鈴木小松、戸野みちゑ、留岡よし和田富、馬上照、齋藤百世、河瀨けさ、及川和、宮下とり、中川らい、新渡安、坂本ひろの、井出愛、西川キシ、岡谷司[illegible]鵜森保、原田年代、南條ひさい、大橋きよ、手島成、武田清、細田キヨ、上中八重野、小平濱、母袋よう、生田花世、兒玉鐘、ガントレット恒、足野愛、佐々城松榮、塚木はま、中山貞、田中芳、遠藤延、吉田とみ、坂本紀玄、渡邊とめ、伊藤錦、岡部梅、本田梅、寺田ちひろ、高田春、三浦たま、山東たい、西岡郁、宮田イク、柳八重、木内キヤウ、相馬光江保坂かつ、末弘杉枝、守屋東、宮崎ふみ橋本淑、清田ハナ、榊原彌生、加藤きい大澤夏江、渡邊すゞ、木内あい、斯部、堀江岐中、鮎澤こせき、佐藤園枝、坂本眞琴、大赤斐、中山せい、大橋英子、村松とし、小笠原露、中澤美代、小林三枝、岡部光、橋本たみ、二宮わさ、多幾山千鶴、松村たか、森操、濱本まし枝、岡本やま杉浦サタ、井出菊江、中ひさ、小澤包子大久保音羽、

値下後の正會員費（二二九、〇〇圓）

伊藤そめ、太田くま、小林すゞ、瀧川さく、土屋なみ、小山ゑつ、依田すゞ、小山みよ、小山悅、青木茂治、小山場、小山王枝、柳澤八重、瀧川とら、小池たけ、大池くら、前澤あさし、澤田芳子、柳田けん、林朝、矢袋もと、矢ケ崎ふさ、小山良、瀧川はる、小山てい、中村みさを、村田千代野、岡崎咲、十川愛、宮本ひろ、濱武たみ、

（以上自三年十二月至四年十一月）

藤原とみ、宮田秀、松井光枝、小尾秋、田中たつみ、生田八栗、土屋靜、宮本由、香月とみ、中村鈴、狩野君子、杉森孝、田中よしの、太田靜江、藤森やす、山田樹只野はぎの、關谷りん、水島みち、渡邊なか、無名氏、森月影、丹羽茂、千葉良多田くに、竹内眞、坂本茂、大瀧淑、岩江つ流、羽中田愛、二宮琴、前田つぎ、栗柄蔦、伊藤いつ、村上きみ、宮島むつ、矢島梅、宮下勝子、柳田花、原清、松木喜久、安田勝枝、今井みよ、大澤まつよ、佐田みつ、松本蝶、赤尾つる、照井鎌、藤田さよ、岡谷たき、向井英、鹽見ヨシ、宮田スゞ、齋藤琴枝、熊谷みさほ、稻川いね、稻葉勲、岡谷かつい、瀬尾すみえ山本寧、足立貴美、脇田ふさ、森長、辻村弘、岡いま、渡瀨香牙、

（以上自四年一月至十二月）

平野飾、守山喜三江、野崎増、宮川英、片木静榮、小島ヨウ、牧原勝子、永嶺ふじ、中村君子、高橋ため、飯塚たけ、櫻井みつ、平田正、佐藤靜、熊岡しめ、我妻幸、佐竹よし、柳田まさ、中畑きみよ齋藤梅、伊藤かほ、小西みつ、鈴木玉、青木順江、渡邊みつ、鈴木京、上山靖、堀田友枝、山内能江、磯部友仁、鶴つや、川邊信、森川玉枝、長尾とみ、長谷川まき夏目永、田邊かすみ、伊藤克巳、市川よしを、松田きん、林ハナ、小川りん、佐藤鈴、神谷體、渡部茂、安藤たか、新久惠、大友とみ、多田常子、野村聰、片山美代、河原田雪枝、千葉とし、島田ための、石川留、杉浦ヤマ、武久喜美枝、南澤もよ、佐田いよ、新谷ふじ、吉野せい金高たき、穗坂紫、宮澤藤枝、宮本嘉寶古村かよ、澤田鶴枝、小山こと、宮崎妙子、古花みや、高花靜枝、星野操、濱藤とも、濱井キクノ、桑原千里、宇佐美靜子、太田とし、濱井靜枝、安間千代、前田とみ、肥田野くめ、杉浦ハヤ、佐藤よし、今泉傳、村上文、伊藤文、持田せい林昌、山田きみ、佐々木靜代、稻垣靜江清水せつ、狩野君代、佐藤浪、（以上自四年二月至五年一月）

榊島八重、安江玖、木口[illegible]、齋藤芳江、近藤菊枝、鵜飼とき、濱千代、熊谷ふじ、江宅夫人、吉田元、杉浦孝、田村千枝、石島菊枝、正戸せつ、秋山紋、内池とね、酒井トシ、朝倉タキ、小野敏子、周田松枝野宮初枝、高橋スエ、村岡綾、藤谷茂坂根モト枝、小久保きの、岡見綾、戒田南部、窪田つる、中塚靜代、倉田たつの淺井妙、小松文、岩田文、宮田濱、吉田信、（以上自四年三月至五年二月）

昭和四年度分（二一、〇〇圓）

山道コマツ、村田千代野、岡村咲、十川愛、宮本ひろ、濱武たみ、栗柄蔦、清水せつ、大橋豐野、大赤斐、加藤茂、杉浦サダ、宮下とり、脇坂靜、皆川せき、名出景、

昭和五年度分（五、〇〇圓）

山道コマツ、栗柄蔦、清水せつ、

昭和六年度分（一、〇〇圓）

清水せつ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

在米正會員費（六二弗＝一三七、七八圓）
庄司こう、岡崎、野田鶴、松岡藤子、山崎秋、岡政、内田郁、小野夫人、久野鈺地、主友野、柏木清子、青井夫人、曾西季子、山田夫人、磯川夫人、山下夫人、和佐倫、島津米、桑原夫人、村島夫人、増田はる立、岡田アイ、佐々倉馬、上原レイ、丹治ツル、三浩スエ、舖山コマ、島内靜江、三山千枝、井下留生、稲垣修乃

二、維持會員費（六二七、二二圓）
昭和二年度分－石原清子、堀越千代、旧房あい、白井いち、武たい子、十文字こと、嶺山コウ、小川淑子、山脇房子、
昭和三年度分－瀧智茂、井上たみ、長谷川嵐子、富澤美枝、竹内茂代、田中冬千代、南美惠、林武子、市川房枝、金子茂、久布白落實、秋山花子、松本勢子、宮田多喜、春田たか、栃木愛子、吉屋信子、羽仁もと子、山田信子、永井大代、鳩山薫、横江芳江、大森百合、川村文子、田中芳子、中澤美代、石原清子、嵐悦孝子、大妻コタカ、吉岡彌生、堀越千代、戸板せき、松村きん、久方芳、
昭和四年度－小尾ふさ、山瀬野、山崎鈴、安藤政子、小森花、渡瀬茂子、小須花子、古小路まつえ、市川たま子、八木靜、武田鶴子、太田菊子、三輪田繁子、山野千枝子、綱野慶（中期分）、春田たか、河井道子、中野てい、

在米維持會費（一〇弗＝二二、二二圓）
安孫子よな、白鳥よれ

三、會友費（一九一、一一圓）
昭和二年度－宮田太郎、
昭和三年度－山田嘉吉、山道襄一、古川義章、野口復堂、丸山丈作、井上嘉重、島崎黎平、瀬田眞澄、土屋規矩治、大谷英一、石川木舟、平林廣人、菊地弘一、丸山千代、大柳政一、關倫三郎、中村得太郎、野口清、永井亨雄、岩瀬浩、武井十郎、宮坂睦宗、平田亭海、佐々木、村林太郎、紅葉末治、秋山清道、河上清、芦田弘道、石川巳峯、杉村、武田甲斐人、田中政夫、堀本正治、市川源市、向山達雄、坂本男吉、富田太郎、
昭和四年度－山道襄一、栗栖義助、小島精雄、藤原君雄、中條政好、淺沼信太郎、臼田哲郎太、木内賢、野口復堂、島原逸三、河崎一、西澤圭、齋藤悠一、市村信虎、織川五郎作、風間禮助、傳田清作、宮永政雄、赤澤誠、兒玉毅、田木眞繼、小川清雄、大澤彦六、芦崎義次郎、芹澤登一、
昭和五年度－山道襄一、栗栖義助、
昭和六年度－十二年度迄－山道襄一、

在米會友費（三三弗＝七一、一一圓）
古屋壽治、角田柳作、中川氏、中村勇、石野幹男、大村政義、後藤政一、藤森源一、岡田政一、内田兇、藤賀興一、中條惟臨、野地茂、平其牛助、毛利正一、尾崎三七

四、寄附金（一二六〇、九〇圓）
杉浦武雄氏（三〇・〇〇）森崎はる氏（五・〇〇）大柳政一氏（一・〇〇）田中芳子氏（五・〇〇）久保山武雄氏（一三八・五〇）小林珠子氏（一・〇〇）久保山武雄氏（二・五〇）河井道子氏（一・〇〇）ガントレット恒子氏（二〇〇・〇〇）母袋よう氏（一・〇〇）川崎正子氏（一〇・〇〇）大澤夏江氏（・五〇）市川イシ氏（一四・四〇）大橋登喜氏（一・〇〇）花の日會（一〇〇・〇〇）全關西聯合婦人會（二〇〇・〇〇）野崎清氏（二・〇〇）竹内茂代氏（一〇〇・〇〇）井上芳子氏（一〇〇・〇〇）故桑原ちや氏（大塚けいし氏扱（二・〇〇）ガントレット恒子氏（一〇〇・〇〇）吉岡彌生氏（一〇〇・〇〇）古谷しづ子氏（一〇〇・〇〇）秋山花子氏（五〇・〇〇）

五、利子（九、〇五圓）
銀行利子（九・〇五）

六、事業費（一一七六、八〇圓）
觀劇會純益（四九三・八二）クリーム賣上（一・六〇）映畫會純益（五〇二・九八）浴衣賣上純益（一八・〇〇）マーク純益（一二五・〇〇）市會演說會收入（三五・四〇）

七、雜收入（二〇五・五四圓）
政治讀本（・七〇）部屋代（三八・〇〇）電話使用料（三・二六）婦人問題研究所部屋代（一〇・〇〇）敷金立替金返濟（七・〇〇）入會金より（五四・〇〇）マーク賣上（一、五〇）おしめカバー純益（一・〇八）

八、借入金（七八〇、〇〇圓）
竹内茂代氏（六八〇、〇〇）市川房枝氏（一〇〇、〇〇）

昭和三年度收支決算表

	科目	昭和三年四月	同五月	同六月	同七月	同八月	同九月	同十月	同十一月	同十二月	昭和四年一月	同二月	同三月	合計	平均
收入	繰越金	一九五、五七												一九五、五七	｜
	借入金	二八〇、〇〇							一〇〇、〇〇	三〇〇、〇〇			一〇〇、〇〇	七八〇、〇〇	六五、〇〇
會費	正會員費	七四、五〇	三七、〇〇	五一、〇〇	四五、〇〇	二〇五、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	三六、〇〇	二三、七八	一二八、〇〇	一〇三、〇〇	三八、〇〇	一一八五、一六	九八、七六
	維持費	二〇、〇〇	四〇、〇〇	二〇、〇〇	九〇、〇〇	一二〇、〇〇	二〇、〇〇	｜	｜	三三、二二	六〇、〇〇	七五、〇〇	三〇、〇〇	六二七、二二	五二、二七
	會友費	二六、〇〇	一〇、〇〇	八、〇〇	六、〇〇	一六、〇〇	四、〇〇	一四、〇〇	四、〇〇	七二、二二	二一、〇〇	七、〇〇	一、〇〇	一九一、一一	一五、九三
	合計	一二〇、五〇	八七、〇〇	七九、〇〇	一四一、〇〇	三四一、〇〇	四二、〇〇	三二、〇〇	四〇、〇〇	一二九、二二	二〇九、〇〇	一八五、〇〇	六九、〇〇	二〇〇五、六二	一六六、九六
	寄附金	五五、〇〇	｜	｜	一四五、五〇	｜	五、五〇	｜	一〇一、〇〇	一〇、五〇	三七五、四〇	一〇三、〇〇	四五二、〇〇	一二六〇、九〇	一〇五、〇七
	利子	｜	九、〇五	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	九、〇五	〇、七五
	事業費	｜	｜	三〇〇、〇〇	九二、六三	｜	一四〇、〇〇	二四七、六〇	二、九八	一二、一〇	一〇〇、四〇	｜	｜	一一七六、八〇	九八、〇七
	雜收	〇、七〇	一四、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	｜	六〇、〇〇	五〇、〇〇	六一、三六	一〇、〇〇	｜	六、三八	二〇五、五四	一七、一三
	收入合計	六五一、七七	一一〇、〇五	三八八、〇〇	三八六、一三	三四八、〇〇	一八七、五〇	三三九、六〇	二九三、九八	七七五、〇五	六九四、八〇	二八八、〇〇	六二七、三八	[illegible]	四六二、九四
支出	俸給	三三、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	一〇五、〇〇	一〇五、〇〇	一〇五、〇〇	一〇五、〇〇	一〇五、〇〇	一五五、〇〇	一二八、五〇	一二八、〇〇	一三八、〇〇	一四一五、〇〇	一一七、九六
事務所費	家賃	三三、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇	四五、〇〇	四五、〇〇	四五、〇〇	六〇五、〇〇	五〇、四二
	光熱	九、六九	九、七〇	五、四七	一五、八〇	一五、四七	五、六八	一〇、三六	二、二五	一、六五	四、九八	一、八六	六、四六	九八、九一	八、二四
	文房具	二一、四七	八、六六	五、四五	九、六九	一、六一	一五、六一	一、二四	七、六五	三、四四	八、四八	二、六五	一〇、二四	一〇五、九四	八、八三
	通信	三五、八八	二六、八三	二四、一〇	三、一七	一一、〇五	一七、九八	一〇、八四	七、一九	三五、九九	二九、八七	一五、五四	二〇、七四	二九七、三二	二四、七八
	電話	五〇、九六	一、一〇	二、四〇	三八、二四	〇、五五	〇、五〇	五七、〇〇	〇、五五	〇、二五	一、一〇	二八、六六	二、一〇	一八五、五四	一五、四六
	交通	二〇、九〇	六、一六	六、九五	一四、〇〇	｜	五、二九	一、二〇	一、〇四	六、九九	五、九五	三、九四	三、五〇	七〇、三四	五、八六
	雜	四、九五	九、七五	七、九〇	一〇、五二	二、九八	七、二五	三、三三	一、九〇	五、〇四	八、三三	一〇、二四	七、五五	一五九、一七	一三、二六
	合計	一七八、四四	一三四、三四	一三三、七七	一九〇、五二	七二、七六	八九、五三	一三五、七七	九一、九〇	一三一、九四	九九、四〇	一五七、六九	一二七、四五	一四九九、四一	一二四、九五
運動費	議會	五、九〇	四、九〇	｜	一五、七五	｜	｜	｜	五一、八〇	五三、〇〇	一三、八〇	二一、七〇	四八、七六	六四四、〇七	五三、六七
	政談	｜	一、三八	八七、一九	｜	｜	｜	｜	｜	四〇、〇〇	三三、五〇	一七、一五	八、〇〇	二〇八、六〇	一七、二五
	會員	｜	｜	二九、〇〇	二、五〇	一、五四	｜	｜	二〇、〇〇	｜	｜	｜	五七、五〇	九〇、五四	七、五四
	財務	｜	｜	二、九五	二、八七	五、五〇	一、五〇	二、〇〇	｜	｜	｜	｜	五、〇七	八七、九九	七、三三
	出版	｜	五〇、〇〇	五〇、〇〇	一〇〇、五五	五〇、〇〇	五〇、〇〇	五〇、〇〇	九〇、〇〇	二三〇、〇〇	一五、〇〇	五〇、〇〇	六〇、〇〇	七九〇、〇〇	六五、八三
	調査	四、五〇	四、三九	四、一〇	一二、一五	五、五〇	九、六〇	四、五三	四九、一〇	五、四四	四、五二	四、八七	一、一〇	一六一、七六	一三、四八
	合計	一〇、四〇	六〇、六七	一七三、二四	一五〇、五七	六〇、五五	六一、五〇	五六、五三	二二〇、九〇	三二八、四四	八七、六五	八九、二〇	六五三、七七	一九八一、二六	一六五、一〇
	大會費	四六、三三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	二九、〇〇	｜	｜	｜	七五、三三	六、四七
	印刷費	二〇、〇〇	一〇、〇〇	｜	三、八〇	｜	｜	｜	一、八〇	三、〇〇	｜	〇、七〇	｜	四七、五〇	五、九五
	マーク代	｜	｜	一五〇、〇〇	五〇、〇〇	六〇、〇〇	二、五〇	一〇、〇〇	二〇、〇〇	｜	｜	四〇、二〇	一〇、〇〇	四〇〇、〇〇	三六、七七
	器具費	〇、六〇	｜	｜	一三、四三	〇、五〇	｜	｜	二、〇八	｜	一〇、六〇	〇、二〇	一、五〇	五〇、二〇	二、五三
	支出合計	五四七、五九	二三九、九二	三八六、〇二	四〇一、一二	三三七、八二	二五八、二三	三〇七、三〇	四五一、六八	七一六、〇八	三二六、一五	四〇〇、七九	四九九、七七	五四六八、七三	四五五、七三
	差引殘高	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	八六、五四	｜

積立金決算（特別會計）

一、收入　一七七、〇〇圓
　內譯
　入會金總額　一〇一、〇〇
　昭和三年度入會金　七六、〇〇
一、支出　一七七、〇〇
　內譯
　敷金ニ繰入　一二三、〇〇
　本部會計ニ繰入　五四、〇〇
一、差引　ナシ
備考　從來入會金を以て積立金に充て來りしも昭和三年十二月の臨時總會にて、入會金制度廢止となりし爲め、一般會計に繰入れたり。

昭和三年度入會金（七六・〇〇圓）
武田しげ、瀧智茂、中井富士子、服部梅子、中山テイ、吉川春惠、山道コマク、伊藤よし、佐藤邦子、廣川しづ、小山サク、中村のぶ、阿部トシヨ、竹中佐喜子、中川千代子、青野ウウ、宮田イク、芳賀婦美、市川いし、高橋キャウ、本位田靜枝、飯田しよう、正田淑子、白井いち、武たい子、菅しな子、上代たの、大橋廣、平野穂枝、丹下ヨシエ、柴田コウ、小島トヨ、多賀山千鶴、坂田滿子、小栗元子、岡田みつ、相谷ヨシ、山田馨子、藤田メキ、花田於君、前島ふく、大和俊子、菊地ヤエ、小山美佐尾、長谷川嵐、澤こと、斯波やす、戸野みちゑ、宮澤久、林みち、服部雪子、熊岡貞子、池山照、中島成子、大濱英子、山添壽子、山口倫子、長町キヨコ、山崎鈴子、及川和、和田富子、宮下とり、中川らい、坂本ひろの、西川キシ、川村文子、原田年代、藤森保子、剛條ひさい、大橋きよ、武田清子、細山キミヨ、上中八重野、小平濱子、横井きくの、清田嘉子、

敷金（特別會計）

一、敷金合計　三〇〇、〇〇
　內譯
　立替　田中芳子氏　六〇、〇〇
　同　竹内茂代氏　六〇、〇〇
　同　秋山花子氏　二〇、〇〇
　同　田房あい氏　二〇、〇〇
　同　久布白落實氏　一〇、〇〇
　同　高野溪子氏　五、〇〇
　同　八木橋きい氏　二、〇〇
　積立金繰入れ　一二三、〇〇

編輯後記

本年も總會前の忙しい時間なさいてとにかく第六號を作り上げました。
但し本年は『婦選』誌上にかなり多く詳細の運動を報導しましたから、各委員會の報告は大分簡略にし、その代りに會計報告に頁をとりました。
いつもながらあはたゞしい仕事で手落もありませうが、何分御許容願上げます。（S）

昭和四年四月二十六日印刷
昭和四年四月二十八日發行（非賣品）
編輯印刷兼發行人　市川房枝
東京市麹町區飯町四ノ五
發行所　婦選獲得同盟
電話九段一七一九
振替東京七〇三八三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA